snowflake®

APACHE SPARKから SNOWFLAKEへの移行： 成功の秘訣

業界をリードする組織がコスト、複雑さ、信頼性を改善するために Apache Sparkベースのソリューションから移行している理由

目次

賢く選択する **3**

企業がSnowflakeに移行している5つの理由 **4**

移行後の効果：成功事例の紹介 **10**

AMN Healthcare：Snowflakeへの切り替えによりデータレイクのコストを93%削減 **11**

Bond Brand Loyalty：マネージドSparkからの移行でコストを50%削減 **12**

CarTrawler：コンバージョンの改善と顧客体験の向上を実現 **13**

Chicago Trading Company：マネージドSparkからの置き換えでコストを54%削減 **14**

Homegenius：Snowparkで提供スピードとイノベーションを加速 **15**

IGS Energy：AI/ML予測の複雑さを低減するとともに75%のコスト削減を達成 **16**

インターコンチネンタル取引所とNYSE：コストを半減し、レポーティングのパフォーマンスを80%改善 **17**

Swire：マネージドSparkからSnowflakeへの移行で数百万ドルのコスト削減を達成 **18**

Travelpass：よりキュレートされた旅行者体験を提供しながらコストを65%削減 **19**

移行計画のマッピング **20**

賢く
選択する

今日、データを必要としない意思決定はほとんどありません。次の製品ラインの決定、活発なサプライチェーンの維持、病気の画期的な治療法の開発や推進など、日常生活を支える組織の原動力はまずデータです。データの信頼性とアクセス性、最新性、セキュリティを維持できるかどうかが、ビジネスの成功と失敗の分かれ目になります。

データがこれほどの意味を持つ状況では、データプラットフォームの選定はすべての企業にとって最も重要な決定の一つであり、考慮すべき要素も多く存在します。たとえば、スケーラビリティ、発生する外部コスト、使いやすさ、データセキュリティやガバナンスに関する懸念の有無などが挙げられます。

この意思決定で重要な部分を占めるのは、インフラストラクチャの基盤となるテクノロジーの選択です。マネージドApache Spark環境（Databricks、Amazon EMR、一部のClouderaの展開など）は、以下を始めとする非常に多くの問題をもたらす場合があります。

- **複雑さ**
- **予測不可能なコスト**
- **セキュリティとガバナンスに関する懸念**
- **パフォーマンスの問題とパイプラインの途絶**

業界をリードする多くの組織が、自社のデータプラットフォームとその基盤テクノロジーを見直し、Snowflakeの使いやすいフルマネージドサービスのプラットフォームに移行しているのは当然と言えます。こうした企業は、信頼性の高いインサイト、統合されたガバナンス、堅牢なコラボレーション、強力な組み込みのAI機能を通じて、ビジネス価値の向上を実現しています。

企業がSNOWFLAKEに移行している5つの理由：イノベーションの活性化から収益向上まで

さまざまな業界や地域の主要な組織が、Snowflakeに移行したことにより、数百万ドルのコスト削減（Chicago Trading Company）、ROIの最大化（Bond Brand Loyalty）、市場投入期間の短縮による提供スピードの迅速化（Swire Coca-Cola, USA）などを実現しています。これらの企業は目標を達成するために、まずそれまで使用していたSparkベースの環境を置換することから始めました。

Snowflakeへの移行を選択した企業では、以下の5つの主要なメリットがこの決断に影響を与えています。

1.アジリティとイノベーション（VS. 運用上の複雑さ）

データチームは、構築方法や構築後の継続的な管理に時間を取られることなく、価値につながる構築内容そのものに注力したいと考えています。

組み込みのクラウドサービスレイヤーを備えたSnowflakeのフルマネージドサービスは、可用性、最適化、ほぼ即時の伸縮性を実現します。Snowflakeは、代替とされるいくつかのレイクハウスプラットフォームとは違い、自動化されたクラスター管理、メンテナンス、アップグレードを提供します。いずれもダウンタイムはありません。また、パフォーマンス改善の定期的なロールアウトを実施しているため、Snowflakeワークロードの処理速度は時間とともに向上します。Snowflakeユーザーは、このメリットを自動的に享受できます。

Snowflakeの使いやすさは、非常に多くの組織によって広く伝えられています。Snowflakeはニアゼロメンテナンスであるため、技術チームの負担を軽減します。チームはサービスレベル契約（SLA）の遵守や新しいデータプロダクトの迅速な提供など、重要な業務に集中できるようになります。

対照的に、その他の多くの企業は依然として、メンテナンスと複雑さの課題という苛立たしい現実に直面しています。大量のデータを迅速に処理しなければならない組織では、長年にわたって、データエンジニアが環境を細かく制御できるApache Sparkを頼っていました。しかし、時間が経つにつれて、企業やチームはApache Sparkの複雑さに身動きが取れなくなってきています。その原因としては、時間のかかる手動でのチューニング、理由がわからないジョブの失敗、専門のSpark開発者の必要性などの負担が挙げられます。

> Snowflakeのシンプルで使いやすい環境に移行したことによって、インフラストラクチャのコストを50%、チームの作業時間を20%削減できました。私たちは、この削減分をプラットフォームに再投資し、より魅力的で優れたサービスを提供するための新機能の追加を加速しています」
>
> **—VINEET GORHE氏**
> DemandHelm、最高技術責任者（CTO）

データエコシステムの進化とともに、**生成AIなどの急速に進展するイノベーションに追いつこうと組織が前進を急ぐ**なかで、データプラットフォームの使いやすさ、スケーラビリティ、柔軟性はこれまで以上に重要なものとなっています。

さまざまな業界の組織が、統合されたシングルプラットフォーム上において、幅広い種類のワークロードやプログラミング言語ですべてのデータタイプ（非構造化データ、半構造化データ、構造化データ）を扱うために、Snowflakeを頼りにしています。Snowflakeは Apache Icebergを標準でサポートしているため、企業はオープンフォーマットのデータを扱える柔軟性を得られます。また、データエンジニアやデータサイエンティストはSnowparkを使用することで、Pythonやその他の使用している言語でデータ変換を行い、そのコードをSnowflakeのプラットフォーム上で直接実行できます。これにより、パフォーマンスの向上と市場投入期間の短縮が実現します。

データを通じてブランドのセールスとEコマースの最大化を支援している**DemandHelm**のような企業にとって、これは最重要の考慮事項です。DemandHelmは、Snowflakeの優れた使いやすさとApache Polaris（インキュベーション中）の相互運用性に強い魅力を感じ、コスト、パフォーマンス、低い複雑性、優れた顧客体験の理由から、DatabricksではなくSnowflakeを戦略的プラットフォームとして選択しました。そして、Snowflakeを選択した結果、50%のコスト削減、20%の生産性向上、イノベーションの加速を実現しました。DemandHelmのCTOであるVineet Gorhe氏は、次のように話しています。「Snowflakeでは、開発者はIcebergのデータを含むあらゆる業務データのインターフェイスとして、シングルプラットフォームを使用できます。以前のリレーショナルデータベースでのクエリには数分かかっていましたが、Snowflakeでは数秒です」

旅行体験プラットフォームである**Travelpass**も、これまで利用していたDatabricksのプラットフォームから、堅牢で使いやすいSnowflakeプラットフォームに切り替えたことによる効果を実感しています。同社がそれまで使用していた手間のかかるプラットフォームでは、データアーキテクトは許容範囲を超えた頻度でエラーのデバッグやジョブの失敗に対応していました。1つの小さな変更によって、システム全体が中断することも多くありました。しかし、使いやすく親しみやすいSnowflakeに移行した結果、Travelpassはコストを65%削減しました。データアーキテクトのDavid Webb氏は、「データエンジニア以外のメンバーも、手軽で有意義な方法で当社のSnowflakeデータに貢献しています」と話します。

Travelpassでは、シンプルなSQLステートメントで宣言的に作成できるダイナミックテーブルなどの機能を活用することで、パイプライン構築の複雑さを大幅に軽減しました。追加のオーケストレーションや管理を必要とし、コード作成にかなりの時間を要するDatabricksのDelta Live Tablesと異なり、ダイナミックテーブルはSQL経験があれば誰でも扱えるため、バックエンドエンジニアやアナリストなど、Travelpassのより多くの従業員が効果的に実践できるようになりました。

Snowflakeに移行してから、**Bond Brand Loyalty**のエンジニアは、クエリを送信する前にコンピュートリソースのクラスターをスピンアップする必要がなくなりました。これにより、データチームの作業時間が週に数時間短縮し、同社における50%の費用削減の達成につながりました。

こうした時間の節減により、Snowflakeのユーザーはデータプロジェクトの完了やプロダクトローンチの加速のためにより多くの時間を確保できるようになります。Coca-Colaのローカルボトラーである**Swire Coca-Cola, USA**では、ビジネスにインパクトをもたらすモデル構築よりも、マネージドSparkの複雑なインフラストラクチャを管理することにデータチームの貴重な時間とリソースが使用されており、価値実現までの時間が長引いていました。Sparkクラスターは無駄な費用を抑えるために手動メンテナンスを必要とし、クラスターのスピンアップには10〜15分かかっていました。しかし、Snowflakeに移行し、SnowflakeをSwireのAI/MLのニーズに理想的なワンストップショップとしてからは、複雑さが軽減したことで重要なMLモデルの展開にかかる時間が数週間短縮し、モデルの使いやすさも大幅に向上しました。

> 私たちのユニットマージンは5%向上しました。つまり、コンバージョンが改善してお客様の欲しい車を用意できるようになったということです。この達成のためには、大規模での管理と処理が不可欠です。Sparkアーキテクチャのままではうまくいかなかったと思います。Snowflakeでなければなりませんでした」
>
> **—PATRICK CALLINAN氏**
> CarTrawler、Insights and Data Science担当Director

2.大幅なコスト節減（VS. 大幅なコスト増加）

すべての企業は、最終収益に注力する必要があります。そのため、適切なデータプラットフォームを選択する際には、コストと価値の両方が最重要の考慮事項の一つとなります。

ここまで見てきたように、企業の主要な移行理由は、Snowflakeの使いやすさとスケーラビリティです。しかし、移行後の企業は、時間と人的コストの大幅な節減も実現しています。それまで、メンテナンスやパフォーマンスチューニングに大きなコストがかかっていたからです。しかも、貴重な時間の節減が可能になると同時に、Snowparkによって、クラスター間でデータ移動の必要なしにさまざまな言語やエンジンを扱えるようになります。つまり、開発者は1つのプラットフォーム上で、伸縮性に優れたシングルエンジンを使用して任意の言語でペタバイト級のデータを処理できるのです。

この効率化は、どのような業界の企業においても大規模なコスト削減をもたらします。組織は**Snowparkを利用することで、マネージドSparkと比較して平均で35%のコスト削減**を実現しています。さらに、多くのお客様はこの数値を大幅に上回る節減を報告しています。たとえば、**AMN Healthcare**は93%のコスト削減を達成して毎年数百万ドルを節約しています。また、**Travelpass**は65%、**Bond Brand Loyalty**は50%の節減を達成しています。

また、企業は費用を節約しただけでなく、費用に対する可視性も改善し、コストをより適切に制御して最適化できるようになりました。Snowflakeに移行したお客様は、マネージドSparkの課題の一つは、コストの予測不可能性だったと振り返っています。

この要素は、**Chicago Trading Company**（CTC）のような組織にとって非常に大きな意味を持つものです。CTCは、Snowflakeに移行したことでコストを54%削減し、SnowflakeとマネージドSparkの間におけるデータを処理するためのデータ移動の費用として年間80万ドルを支払う必要がなくなりました。Chicago Trading Companyでは、コストの可視性と制御が強化されたため、ジョブごとの正確なコスト、特定のデータセットのコンピュート使用量、パイプラインごとの費用をほぼ即時に把握できるようになりました。

Chicago Trading Companyのデータエンジニアリング担当ヘッドであり、プリンシパルエンジニアでもあるDavid Trumbell氏は、「マネージドSparkのジョブごとのコストを把握するには何か月もかかっていたため、私たちは苛立ちを感じていました。ですが、Snowflakeへの移行後は、ジョブ実行ごとに各コードグループのコストを正確に把握できるようになったため、私たちのコストの問題はすぐに解消しました」と述べています。この優れた可視性により、チームはリソースとROIの最大化のためにどのジョブを実行すべきかについて、より情報に基づいた意思決定を行えるようになりました。

> Snowparkによるコスト削減の効果は非常に大きく、今年の予算を調整しなければならないほどでした」
>
> **—ANAND PRADHAN氏**
> ニューヨーク証券取引所、Regulatory Technology担当Senior Director

SNOWFLAKEへの移行の価値

AMN Healthcare

93% AMN Healthcareはコストを93%削減して毎年数百万ドルを節約している

Travelpass

65% Travelpassはコストを65%削減した

bond.

54% Bond Brand Loyaltyはコストを54%削減した

CTC CHICAGO TRADING COMPANY

54% Chicago Trading Companyは年間で数百万ドルに相当する54%を削減した

ICE

50% ICE傘下のニューヨーク証券取引所は規制レポーティングのワークロードを50%以上削減した

igsenergy

75% IGS Energyは顧客レベルの予測モデルのトレーニングをDatabricksからSnowflakeの統合されたモデルに移行したことでコストを75%削減した

3.大規模での高信頼性（VS. パイプラインの途絶）

組織は、日々の業務を促進するために、高速なデータ処理と信頼性の高いデータパイプラインを必要としています。この目標を現実のものとするためには、基盤となるデータプラットフォームには、ほぼ無限のスケーラビリティとほぼ無制限の同時実行性であらゆる種類のデータを扱えることと同時に、卓越したパフォーマンスを実現できることが求められます。さらに、組織のデータエンジニア、データサイエンティスト、開発者が、効率的かつ直感的にコードの記述と実行を行える必要もあります。

Snowflakeの柔軟性と信頼性からメリットを得てSnowparkを使用しているお客様は、マネージドSparkと比較して平均で**4.6倍高速なパフォーマンス**を実現しています。さらに、Snowflakeは、時間の経過とともにお客様のコストをさらに削減できるよう、継続的なパフォーマンス改善の実行にコミットしています。**Snowflakeパフォーマンス指数**（SPI）は、お客様が体験するSnowflakeの経時的なパフォーマンス改善を測定する集計指数です。このSPIはお客様の実際のワークロードに基づいて算出されており、2022年8月に追跡を開始してからSnowflakeのクエリ時間のパフォーマンスが27%向上していることを示しています。

Snowflakeのオンデマンドのスケーラビリティとパフォーマンスのイノベーションは、**Chicago Trading Company**のようなお客様にとって多大なメリットになります。Chicago Trading Companyは、SnowflakeとSnowparkに切り替えたことで、ジョブの失敗が劇的に減少し、信頼性が向上しました。その結果、同社史上初めて、市場開始の1時間前という準備期限を毎日達成できるようになりました。このマイルストーンはこれまで確認することも難しい状況でしたが、Snowflakeによって初めて達成可能な目標となりました。

> 私たちは今後、Sparkを使用する必要はなくなりました。Snowflakeが、私たちの高度なビジネスインテリジェンスとデータサイエンスのユースケースのための、スケーラブルで信頼できる、セキュアなファウンデーションとなってくれるからです」
>
> **—PATRICK CALLINAN氏**
> CarTrawler、Insights and Data Science担当Director

4.6倍

Snowparkへの移行後のお客様のパフォーマンスは、Sparkソリューションと比較して平均で4.6倍高速化した

4. 安心できる組み込みのガバナンス（VS. 後付けのセキュリティ）

ガバナンスとセキュリティは、あらゆる組織にとって不可欠なものです。組織は、常に適切な人員に適切なコンテンツへのアクセス権が付与されるようにすると同時に、増え続ける規制要件を満たし、機密情報や個人を特定できる情報（PII）を保護する必要もあります。

Snowflakeでは創業当初から、セキュリティとガバナンスを基盤としてきました。Snowflake Horizon Catalogによる単一のクロスクラウドガバナンスモデルは、粒度の高いロールベースのアクセス制御（RBAC）、継続的なリスクモニタリング、プライバシー重視のコラボレーションを始めとする数多くの組み込み機能によって、これまで変わることなく差別化要因となっています。さらに、Snowflake Open Catalogは、Apache IcebergのオープンソースカタログであるApache Polaris（インキュベーション中）のフルマネージドサービスを提供します。

> 当社がIcebergテーブルに移行した主な理由は、データストレージとクエリエンジンが切り離されたオープンテーブルフォーマットを利用できることにありました。私たちがデータプラットフォームを選定するにあたって、DatabricksのUnity Catalogによるテクノロジー戦略は不明瞭であると感じました。ですが、Apache IcebergのためのSnowflakeのオープンソースカタログは明瞭で非常に説得力があり、素晴らしい印象でした」
>
> **—VINEET GORHE氏**
> DemandHelm、最高技術責任者（CTO）

ニューヨーク証券取引所（NYSE）を傘下に収めるグローバル金融組織であるインターコンチネンタル取引所は、データの大規模での管理と規制遵守を両立することの重要性を理解しています。NYSEでは当初、SnowflakeとSparkコネクタを使用して外部環境でデータエンジニアリングパイプラインを処理していましたが、規制レポーティングのワークロードを強化するための費用対効果の高い信頼できる方法を求めて、すぐにSnowparkに切り替えました。現在、同組織の規制テクノロジーチームは、50%のコスト削減を達成するとともに安心を得ています。

Swireも移行のメリットを享受している企業です。Swireでは、それまで使用していたマネージドSparkプラットフォームでデータの整合性とセキュリティについて懸念が生じたことからSnowflakeに切り替え、結果としてデータガバナンスが改善しました。

> **Snowparkに移行したことによるガバナンスのトレードオフはありませんでした。Snowparkでは、すでに当社のライブデータが存在しているSnowflakeのシングルプラットフォーム内だけでPythonベースのデータエンジニアリングパイプラインを構築できるからです。私たちにとってSnowparkへの移行は重要な一歩であり、非常に大きな成功です」**
>
> **—ANAND PRADHAN氏**
> ニューヨーク証券取引所、Regulatory Technology担当Senior Director

5. データ共有によるさらなる可能性（VS. サイロ化したインサイト）

人間は、他者との効果的な共有やコラボレーションによって進歩します。データの世界も同様です。企業は、データのセキュアな共有を通じて組織の内外のエコシステムを接続することで、新たな成長の機会とともにデータやアプリの斬新な収益方法を解放できます。

Snowflakeには、コラボレーションにおける実績があります。企業はSnowflakeによって、組織の内外を問わず、複数のクラウドにまたがって、すぐに利用可能なライブデータ、アプリ、AIプロダクトを共有し、直接アクセスできるようになります。データの移動や統合は不要です。

また、Snowflakeネイティブアプリフレームワークを使用してフルスタックアプリを構築し、Snowflakeマーケットプレイス（630以上の提供者、2,800以上のマーケットプレイス登録、160以上のネイティブアプリ）を通じ、何千ものユーザーに向けてアプリの配布や収益化を実現できます。このコラボレーションのメリットは、**Bond Brand Loyalty**にとって非常に重要なものとなっています。同社は、Snowflakeのネイティブアプリとして**Synapze XI**という、体験とインサイトのプラットフォームを構築しました。Snowflakeマーケットプレイスから利用可能なSynapze XIは、ロイヤリティスコアや顧客生涯価値などの主要なメトリクスを提供します。これにより、Bondの利用者は専有データの安全を維持したままで、業界の他のプレイヤーと比較したパフォーマンスベンチマークを実行できます。

> 当社がSynapze XIをSnowflakeに移行したのは、ネイティブアプリによってチームや利用者向けにプロダクト化できるようになるからです。ネイティブアプリは利用者のSnowflake環境で実行されるため、データガバナンスやセキュリティに関する懸念が不要になります。そのため、私たちは利用者との間で互いのデータを見せ合うことなく、利用者に知的財産（IP）や手法を提供できます」
>
> **—FRANCIS SILVA氏**
> Bond Brand Loyalty、 Digital and AI担当
> Executive Vice President

移行後の効果：
成功事例の紹介

さまざまな業界の革新的なリーダーが、Snowflakeのガバナンスの確保された、使いやすく統合されたデータプラットフォームに移行し、組織全体を通したイノベーションの解放を実現しています。

次ページ以降では、顧客サービスの改善から競争優位性の推進まで、Snowflakeを活用して目標を達成した企業の事例をご紹介します。

「Snowflakeの差別化要因はテクノロジーだけではありません。Snowflakeはパートナーシップにおいても、リーダーシップからエンジニアリングに至るまで、Snowflakeのエコシステム全体にわたって卓越しています。採用テクノロジーを選定する際に重要となるのは、機能やケイパビリティ、コストだけではありません。私たちのテクノロジー投資に対して最大価値をもたらしてくれる、真のビジネスパートナーを見つけなければならないのです」

—FRANCIS SILVA氏
Bond Brand Loyalty、 Digital and AI担当Executive Vice President

AMN HEALTHCARE：SNOWFLAKEへの切り替えによりデータレイクのコストを93%削減

ヘルスケア人材派遣領域のリーダーであるAMN Healthcareは、Snowflakeの堅牢なデータプラットフォームへの移行後、業務効率を大幅に改善して複雑さを軽減すると同時に数百万ドルを削減しました。

業界 ヘルスケア

ワークロード AI/ML、コラボレーション、データエンジニアリング、データレイク、データウェアハウス

AMN Healthcareは、人材派遣と人材の革新的なソリューションを提供する企業です。複雑さの軽減、効率の改善、患者の治療成果の向上を目指す1万以上の顧客を支援しています。米国最大級のヘルスケア人材派遣会社の一つであり、2万5,000人ものプロフェッショナルをいつでも派遣できる同社は、大量の派遣データや業務データを取り込んで分析することで、顧客や内部ユーザーにデータドリブンなインサイトを提供しています。

課題

AMN Healthcareのリーダーは、信頼性の高いデータやインサイトにタイムリーにアクセスする必要がありました。しかし、実稼働データベースへの直接接続によって、リソースの競合やレポートの遅延が発生していました。AMNの元々のデータレイクアーキテクチャは、運用管理の負担が大きくスケーリングも困難でした。その後、AMNのデータレイクはDatabricksに移行したことで、データが一元化され、スケーリングも可能になりましたが、データチームやアナリティクスチームは依然として、パフォーマンスとコストの最適化に苦労していました。データパイプラインの課題を抱えるAMN Healthcareでは、失敗したジョブのトラブルシューティングやソフトウェアのパッチ適用を実行するセンターオブエクセレンス（CoE）に、毎月約9万ドルの費用を投じていました。AMN Healthcareにおけるデータ環境の総コストは年間240万ドルにまで増加しましたが、プロジェクトやチームごとのコストの割り当ては煩雑なものとなっていました。

結果

AMN Healthcareは、Snowflakeに切り替えたことでパフォーマンスの問題を解消し、データパイプラインの複雑さを軽減しました。Azure Data Factory経由でSnowflakeにデータを取り込むようになったことで、同社の従来のデータオンボーディングツールが不要になり、チームはSQL Server Integration Services（SSIS）の専門知識を活用できるようになりました。さらに、Snowflake内でストアドプロシージャを作成することでデータ変換についての便利な解決策がもたらされ、Snowflakeのマルチクラスターの共有データアーキテクチャと秒単位の料金によって、コスト管理の透明性も向上しました。また、Snowflakeはニアゼロメンテナンスであることから、技術人材が重要な業務のためにより多くの時間を確保できるようになりました。

SnowflakeとMicrosoft Azure Data Factoryの導入後、AMN Healthcareのデータ環境のコストは、保存データ量が約50%増加したにもかかわらず、1か月当たり20万ドルから1万4,000ドルに減少しました。AMN Healthcareのデータ環境は、SnowflakeとMicrosoft Azure Data Factoryを使用した再構築の結果として、パイプラインの成功率が99.9%になり、データウェアハウスのランタイムが75%削減されました。AMN Healthcareでは毎日、Snowflakeに対して100GB以上のデータを書き込み、1,176個ものテーブルをレプリケートしているにもかかわらず、データレプリケーションのSLAを一貫して達成しています。

効果

- 保存データ量が50%増加したにもかかわらず、Snowflakeに切り替えたことで**年間で推定220万ドルを節減**
- SnowflakeとMicrosoft Azure Data Factoryを使用した再構築により、**99.9%のパイプライン成功率を実現**
- チームのパイプライン処理のSLA（1〜3分）を一貫して達成し、同時に**データウェアハウスのランタイムを75%削減**

ストーリー全文を読む

私たちは驚くほどコストを節減できました。年間ベースでは220万ドルを削減できる見込みです」

—MARIO MELENDEZ氏
AMN Healthcare、Data Management and Analytics担当Director

BOND BRAND LOYALTY：マネージドSPARKからSNOWFLAKEへの移行でコストを50%削減

顧客ロイヤルティ領域におけるリーダーであるBond Brand Loyaltyは、顧客行動の分析と把握について合理化と費用対効果の改善を必要としていました。同社はSnowflakeを採用した結果、データの可視性の向上とコストの大幅な削減を実現しました。

業界 金融サービス
ワークロード アプリケーション、データエンジニアリング、データレイク、データウェアハウス

Bond Brand Loyaltyは、40年以上にわたって、Amazon、Capital One、Ford、Harley-Davidsonなどの象徴的なブランドが顧客との深いつながりを確保し維持できるように支援してきました。このつながりは、カスタマージャーニーのあらゆるタッチポイントで収集したデータによって支えられています。

課題

Bondの顧客データプラットフォーム（CDP）では毎日、1億人を超える顧客からの約3億件のトランザクションを処理しています。このプラットフォームでは、こうしたトランザクションデータに、顧客の行動や態度に関するBond独自の調査結果や、クレジットカードのパートナーからの集計データを組み合わせることで、ウォレットシェアなどのインサイトを得られます。しかし、数ペタバイトのデータからインサイトを抽出するこのプロセスは、通常、多くの労力とコストを必要としていました。その主な理由は、同社が使用していたマネージドSparkプラットフォームでは、エンジニアリングチームによる多くのハンズオン作業が求められていたからです。

結果

Snowflakeに移行したことにより、Bondは毎日の数百万件のトランザクションをより効率的に処理できるようになり、同時にコスト削減も実現しました。エンジニアはクエリ送信の前にコンピュートリソースのクラスターをスピンアップする必要がなくなったため、データチームの毎週の作業時間が短縮しました。また、Snowflakeによって可視性も改善しました。Bondの従来のデータ管理ソリューションでは、異なる複数の顧客からのクエリがすべて同じプラットフォームで実行されていたため、各リソースのタグ付けに多くの時間を費やさずに特定の顧客にコストを割り当てることは困難でした。Snowflakeの統合されたダッシュボードでは、コンピュートリソースが使用されている場所を特定しやすくなっています。

当初、BondはマネージドSparkソリューションを使用してデータ分析を実行した後、Snowflakeを利用して組織全体にインサイトを共有していました。しかし、アナリティクスアプリケーション構築用のSnowparkのランタイムツールライブラリを採用することにより、2つを併用する必要はなくなりました。Bondでは現在、Snowflakeを使用してデータの管理と分析を実行することで、内部ユーザーと外部顧客のためのコラボレーティブなプラットフォームを大規模に構築しています。これにより、Bondはデータのイングレスとエグレスにかかる時間とコストの両方を節減できました。

効果

- マネージドSparkからSnowflakeへ切り替えたことで**コストを50%削減**
- BondのSnowflakeネイティブアプリであるSynapze XI（Snowflakeマーケットプレイスから利用可能）を利用している顧客の**エンゲージメントが7%向上**
- エンジニアリングのオーバーヘッドが解消し、より少ないコストでより多くのデータをより迅速に処理できるようになったことで、**劇的な効率改善を実現**

ストーリー全文を読む

「私たちは現在、プロダクト化したアナリティクスツールを自社のSnowflake環境で活用しているため、データを移動する必要がなく、最適化や展開に必要となるリソースも最小限で済んでいます。そして最終的には、総保有コストが大幅に低減し、エコシステムも簡素化しました」

—FRANCIS SILVA氏
Bond Brand Loyalty、Digital and AI担当
Executive Vice President

CARTRAWLER：コンバージョンの改善と顧客体験の向上を実現

業界をリードするテクノロジープラットフォームであるCarTrawlerは、Sparkベースのインフラストラクチャを Snowflakeに置き換えたことで、データパイプラインの簡素化、環境のスケーラビリティ向上、コンバージョン率の改善を実現しました。

業界 旅行、テクノロジー

ワークロード AI/ML、データエンジニアリング、データウェアハウス

CarTrawlerは、グローバル旅行業界向けのテクノロジーソリューションにおける主要なB2Bプロバイダーです。エンドツーエンドのテクノロジープラットフォームを通じて、航空会社や旅行パートナーのオファリングをCarTrawlerの顧客へと広げ、レンタカー、プライベート空港送迎、ライドヘイリングサービス、世界最大級の旅行ブランドなど、世界中のさまざまなコンテンツを提供しています。

課題

CarTrawlerは、増加するトランザクション量に対応するために、データアナリティクスのためのクラウドデータウェアハウスを実装しました。しかし、CarTrawlerの成長によってデータ要件が変化し、レガシープラットフォームでは解決が難しいスケーラビリティコストの問題が生じました。CarTrawlerのデータウェアハウスでのデータの抽出、変換、ロードには、Databricksを含む複数のシステムが使用されていました。運用上の複雑さとコストの上昇は、CarTrawlerが顧客一人ひとりの360度ビューを維持してデータサイエンスの目標を実現するうえでの障害となっていました。

結果

よりスケーラブルなデータ環境の必要性を認識したCarTrawlerは、AWS上でSnowflakeを利用する決断をしました。Snowflakeのマルチクラスターの共有データアーキテクチャは、40TBのデータが格納されたテーブルを含め、CarTrawlerのデータ、ユーザー、ワークロードを扱えるようにスケーリングされました。Snowflakeはニアゼロメンテナンスであることから、CarTrawlerの技術人材は、データパイプラインの簡素化や内製のデータアプリケーションの構築のためにより多くの時間を割り当てられるようになりました。Snowflakeは、複雑な手動の運用作業なしに優れたパフォーマンスを実現するという点で、CarTrawlerがそれまで使用していたSparkベースのインフラストラクチャとの差別化を提示しました。

CarTrawlerでは、より多くの来店者を顧客に変換できるようにするために、来店者の嗜好に合った最適な車をマッチングすることで来店者体験を最適化しています。CarTrawlerはSnowflakeを一元化されたデータプラットフォームとしたことによって、大量の履歴データを保持できるようになりました。こうしたデータを利用して、データアナリストは新たなインサイトを明らかにし、データサイエンティストは革新的なモデルを構築しています。CarTrawlerのデータサイエンスモデルとSnow lakeを原動力とするレコメンデーションエンジンは、来店者の嗜好を予測して、関連性のある車、燃料ポリシー、保険などを提案することで彼らの必要としているものを提供します。その結果、CarTrawlerでは顧客満足度が向上し、健全なマージンの増加が実現しています。

効果

- データの管理と処理を大規模に実行するレコメンデーションエンジンにより、**ユニットマージン収益が5%増加**
- **運用上の複雑さが軽減**したため、技術人材が内製の新規データアプリケーションの構築のために使用できる時間が増加
- TableauとSnowflakeを使用した**セルフサービスのレポーティング**により、データアナリティクスが民主化され、アカウントマネージャーがリレーションシップ管理に集中できる環境が実現

ストーリー全文を読む

私たちのユニットマージンは5%向上しました。つまり、コンバージョンが改善してお客様の欲しい車を用意できるようになったということです。この達成のためには、大規模での管理と処理が不可欠です。Sparkアーキテクチャのままではうまくいかなかったと思います。Snowflakeでなければなりませんでした」

—PATRICK CALLINAN氏
CarTrawler、 Insights and Data Science担当Director

CHICAGO TRADING COMPANY：マネージドSPARKからの置き換えでコストを54%削減

CTCのリサーチプラットフォームは、Snowflakeへの移行によってデータのある場所での開発が可能になり、費用対効果に優れた迅速で信頼性のあるデータ処理が実現しました。結果として、トレーダーはいつでも必要なときに必要なインサイトを得られるようになりました。

業界 金融サービス
ワークロード データレイク、データウェアハウス、データエンジニアリング、コラボレーション

市場は驚くほど急激に変化します。Chicago Trading Company（CTC）のようなマーケットメーカーはそのことを最も熟知しています。CTCは業界の主要なデリバティブ取引会社として知られており、世界中の市場に流動性を提供しています。同社は買い手と売り手の両方の立場で取引に参加することで、効率的で安定した健全な市場の推進に貢献しています。

課題

CTCのリサーチプラットフォームは、各取引所からのフィード、過去の取引価格、サードパーティデータなど、何千ものソースから情報を収集しています。CTCでは、これらの情報から作成される数万のデータセットを毎晩変換して、翌朝の市場開始時間までにトレーダーが求めるインサイトを生成する必要がありました。しかし、CTCは、SnowflakeとマネージドSparkの間のデータ移動のためだけに年間で80万ドルを支払っていました。また、マネージドSparkでは、費用の適切な帰属とROIの評価のためにジョブごとのコストを明らかにしようとしてもなかなかうまくいかない状況となっていました。

結果

これらの障害を解消するために、CTCはそれまでマネージドSparkで実行していた処理をSnowflakeへと移行しました。Snowflakeには、すでにCTCのデータ基盤が構築されていました。その結果、CTCはほぼ即時に、コスト、信頼性、スピード、複雑さなど、多くの重要課題から解放されました。現在はデータ移動の費用が不要になっただけでなく、データのある場所でのPython開発も可能になっています。さらに、Snowflakeによってコストの可視性と制御の側面も強化されました。CTCでは現在、ジョブごとの正確なコスト、特定のデータセットのコンピュート使用量、パイプラインごとの費用をほぼ即時に把握できるようになりました。

また、Snowpark内のデータの場所でコンピュートを扱えるようになったことにより、CTCではデータ処理のジョブの失敗が大幅に減少しました。ジョブは常に時間に追われていることを考えると、これは非常に価値のある改善です。このコスト削減を通じて、CTCはさらなるイノベーションの実現とマーケットメーカーとしてのケイパビリティの向上のために、データを最大活用しています。

効果

- マネージドSparkからSnowflakeへの移行により、年間で数百万ドルに相当する**54%のコスト削減を達成**
- Snowflakeの内外へのデータ移動が不要になったことで**年間80万ドルの節減を実現**
- Snowflakeの導入前は確認することもできなかった、市場開始の1時間前までにデータを準備するという**毎日のSLAを初達成**

ストーリー全文を読む

「Snowflakeでは一時的な障害が少なく、より優れた可視性を得られるため、マネージドSparkに比べてはるかに簡単で費用対効果の高いプラットフォームを実現できました」

—DAVID TRUMBELL氏
CTC、データエンジニアリング担当ヘッドおよびプリンシパルエンジニア

HOMEGENIUS：SNOWPARKで提供スピードとイノベーションを加速

Homegeniusは、Snowpark for Pythonを採用したことでデータパイプラインのスピードと品質を改善し、提供までの時間を劇的に短縮しました。

業界 テクノロジー
ワークロード AI/ML、データエンジニアリング

Homegeniusグループは、住宅購入者、不動産業者、その他の不動産業界関係者のために、最新のAIツールを利用してスマートな不動産体験を提供しているテクノロジーグループです。Radian Groupの傘下にあるこのグループは、データサイエンスと機械学習を活用し、さまざまなソースから取得した多様なデータを使用してモデルを構築、展開し、住宅購入者体験のあらゆる部分にテクノロジーをもたらしています。

課題

Homegeniusのデータサイエンスチームは、データ変換の迅速化、データ検証の品質向上、パイプラインテストの時間短縮を必要としていました。データエンジニアリングチームは、テストが簡単で研究開発を迅速化できるPythonをプログラミング言語として使用したいと考えていました。チームは当初、データをPySparkにプルしてからSnowflakeにプッシュバックしていましたが、パイプラインのスピードと品質に課題を感じていました。チームには、ほぼ無制限のスケーラビリティ、優れた同時実行性、卓越したパフォーマンスのすべてを備えたデータプラットフォーム、そして、ガバナンスの確保されたデータの容易な発見とセキュアな共有を実現して多様なアナリティクスワークロードの実行を可能にする、データの統合された単一ビューが必要でした。

結果

Snowparkを採用したHomegeniusは、シングルプラットフォーム内でデータを維持して処理できるようになったため、パフォーマンスが改善しました。PySparkコードをSnowparkに変換する作業は、インポートステートメントの変更と同様にシンプルでした。また、SnowflakeによってHomegeniusのデータサイエンスプログラムも加速しました。Homegeniusでは、データセットのゼロからの再構築が可能になりました。大規模なデータセットであってもわずか30分で再構築でき、以前のソリューションと比較して数日または数週間の短縮を実現しています。さらに、Snowflakeの統合されたプラットフォーム内ではさまざまなチームが同じデータを使用できるため、チームはコストとメンテナンスの必要性を最小限に抑えながら、スケーラブルで最適化されたパイプライン、アプリ、機械学習ワークフローを構築できるようになりました。

効果

- 数日または数週間かかっていた処理時間が数分に短縮し、データエンジニアの**提供スピードが迅速化**
- 大規模なデータセットの再構築に要する時間が改善し、数日または数週間から30分にまで**短縮**
- データサイエンティストの**研究開発の機会が増加**し、これまで十分に活用できなかった大規模データセットでの実験が実現

ストーリー全文を読む

「（別のベンダーの）ソリューションは6週間かけても使用できるようにならなかったのですが、Snowflakeは1日で変換できました。そして、すべてがうまくいっています。私たちはいくつもの巨大なクラスターに数千ドルを費やしましたが、大規模なジョブの完了には何時間もかかっていました。ですが、Snowflakeでは単一の5XLウェアハウスで、同じワークロードを10分かからずに完了できました。個人的には、これこそが、Snowflakeが私たちにもたらしてくれた最大のメリットだと考えています。これまでは、処理を実行して提供するまでに数日または数週間かかっていましたが、わずか数分に短縮できました」

—NOAH GOODRICH氏
Homegenius、プリンシパルデータエンジニア

IGS ENERGY：AI/ML予測の複雑さを低減するとともに75%のコスト削減を達成

IGS Energyは、Snowflakeを通じてデータを活用し、費用対効果に優れた予測モデルの構築や精度の高い異常検知を始めとするAI/MLのさまざまなユースケースを強化しています。

業界 製造

ワークロード AI/ML、データエンジニアリング、データウェアハウス

環境に優しい未来づくりに取り組むIGS Energyは、企業から一般家庭まで、100万を超える米国の顧客に電気と天然ガスを供給しています。IGSは信頼性が高く安価でクリーンなエネルギーを誰もが利用できるようにすることを使命としており、再生可能な電力、カーボンニュートラルな天然ガス、太陽光発電など、さまざまな持続可能エネルギーソリューションを提供しています。

課題

IGSの使命にはデータが不可欠です。しかし、IGSが頼っていたオンプレミスのレガシーデータインフラストラクチャは、データサイエンスチームの正確で効率的な日常業務の遂行を制限していました。特に問題となっていたのは、電力の購入を決定するための需要予測でした。これは同社のビジネスにとって不可欠な要素です。ML駆動のIGSの予測モデルは、天候、過去のエネルギー消費量、アカウントの詳細、契約日などの情報を含む膨大な量のデータを必要とします。一般的に、需要予測は粒度が高いほど精度が向上します。しかし、IGSはアカウントごとに1つの予測モデルを使用していたために大量の顧客アカウントが存在することとなり、非常に多くのオーバーヘッドが発生していました。

結果

IGSは、Snowflakeを使用して自社の次世代の需要予測モデルを構築しました。そして、顧客ごとにモデルをトレーニングすることをやめ、Snowflake内で統合された単一のモデルをトレーニングするように変更しました。この変更によって複雑さが軽減した結果、IGSは高い精度を維持しながらトレーニングコストを75%削減することに成功しました。これまでは、モデルをトレーニングして予測を生成するプロセスには30分を要していましたが、Snowflakeの統合されたモデルでは、わずか数分で数十万の顧客の予測を生成でき、シミュレーションやシナリオ予測などの新たな機能も利用可能になりました。

効果

- Databricksで数十万の個別予測モデルを使用することをやめてSnowflakeの統合された単一のモデルにシフトしたことにより、**AI/ML予測のコストが75%低減**
- 顧客の問題をより正確に特定できるようになったことから**顧客満足度が向上**
- AI/MLの優れた異常検知によって**手作業の必要性が減少**

ストーリー全文を読む

私たちはSnowflakeの大ファンです。Snowflakeは、強力で信頼性の高いプラットフォームです。今後も機械学習の新機能、バージョン管理、ノートブックなど、さらなる進展を楽しみにしています」

—DAN SHAH氏
IGS Energy、データサイエンス担当Manager

インターコンチネンタル取引所とNYSE：コストを半減し、レポーティングのパフォーマンスを80%改善

インターコンチネンタル取引所は、Snowflakeにより、ニューヨーク証券取引所（NYSE）などのグローバルな取引所の規制の遵守とレポーティングをサポートすると同時にコストの軽減と運用効率の向上を実現しました。

業界 金融サービス

ワークロード AI/ML、アプリケーション、コラボレーション、データエンジニアリング、データウェアハウス

インターコンチネンタル取引所（ICE）は、米国、欧州、シンガポール、アブダビを拠点として、取引所、クリアリングハウス、データサービス、モーゲージテクノロジーの事業を展開しているグローバル金融組織です。ICEのポートフォリオの一部であるニューヨーク証券取引所（NYSE）は世界最大の証券取引所であり、有名企業や起業家に対して資金調達と世界変革の機会を提供しています。

課題

ICEでは一日に数十億件の取引記録を処理しているため、下流にある規制遵守、市場監視、顧客レポーティングの分析システムに負荷がかかっていました。ICEは、オンプレミスのデータウェアハウスをSnowflakeに置き換えたことによってクエリパフォーマンスを80%改善しました。そしてすぐさま、クラウド上のコストの節減の最大化、スループットの向上、データインパクトの加速に焦点を移しました。

NYSEのミッションクリティカルな規制レポーティングのワークロードは、何千億件もの記録を処理するための膨大なコンピュートを必要とするため、その最適化はデータコストの削減と生産性の向上の大きな機会を示すものでした。NYSEでは当初、SnowflakeとSparkコネクタを使用して、外部環境でデータエンジニアリングパイプラインを処理していました。しかし、2つのコンピュート環境を別々に維持することはコストと運用上の負担が大きく、Snowflakeの内外へのデータ移動によって、隠されたコストと「二重課税」の両方が発生していました。

結果

NYSEは、費用対効率に優れた信頼性の高い方法で規制レポーティングのワークロードを強化するために、Snowparkを採用しました。Snowparkにより、チームはすでにデータが置かれているシングルプラットフォーム内のみで、Pythonベースのデータエンジニアリングパイプラインを構築できるようになりました。つまり、NYSEにとって、この移行はガバナンスのトレードオフのない多大な成功でした。NYSEは、Snowparkによって複雑さの解消と費用の節減を実現しました。同社が規制レポーティングのワークロードのためにSnowparkを展開してから、データ量は比較的一定だったにもかかわらず、1か月以内に関連データコストは50%以上減少しました。

Snowparkによるワークロードの合理化は障害発生点の減少をもたらし、管理を必要とする手動のコードチューニングの必要性も低減しました。さらに、運用上の課題が減少したことで、データエンジニアリングのスループットは何倍にも改善しました。NYSEは現在、高度アナリティクスと生産性の向上への注力を強めています。

効果

- NYSEの規制レポーティングのワークロードの**コストを50%以上削減**
- Snowflakeのセキュアな境界内に留まるPythonベースのデータエンジニアリングパイプラインにより、**ガバナンスの維持を実現**
- **運用上の問題が減少**し、データスループットが改善したことで、生産性が向上して高度アナリティクスのために割り当てられる時間が増加

ストーリー全文を読む

「他のソリューションではコストの透明性を確保することは非常に困難ですが、Snowparkではすべてがsnowflake内で実行されるため、正確なコストを把握できます」

—DURGESH DAS氏
インターコンチネンタル取引所、
Data Warehousing, Analytics and Governance担当ヘッド

SWIRE：マネージドSPARKからSNOWFLAKEへの移行で数百万ドルのコスト削減を達成

Swireは、Snowflakeに切り替えて新たなAI/MLのワンストップショップとしたことによって、物流ルートの最適化とコストの低減を実現し、費用対効果の高いアジャイルでデータによって最適化された未来に向けて優位を獲得しています。

業界 飲料/消費財

ワークロード AI/ML、データウェアハウス、データエンジニアリング

Swire Coca-Cola, USAは、米国西部の13州におけるCoca-Colaやその他の飲料ブランドのローカルボトラーです。同社の7,200人の従業員は、メキシコ国境からカナダ国境、太平洋からグレートプレーンズまで、3,100万人の消費者に毎日飲料品を届けています。

課題

Swireは、Snowflakeを信頼できる唯一の情報源として利用していましたが、AI/MLのニーズには別個のマネージドSparkプラットフォームを使用していました。そして、そのために管理が困難な複数の請求プロセスが生じていました。同社のデータは、Sparkワークロード、特徴量エンジニアリング、モデルトレーニングのためにSnowflakeの外に取り出され、その後で推論のためにSnowflakeに戻されていたため、転送料金が発生していました。さらに、マネージドSparkプラットフォームのクラウドプロバイダーのコストも加わり、Swireのアーキテクチャではコストの追跡が極めて困難になっていました。

また、データチームは複雑なインフラストラクチャの管理に時間を取られており、このことがモデル構築の遅延の原因となっていました。Sparkクラスターは無駄な費用を回避するために手動メンテナンスが必要で、スピンアップには10～15分かかっていました。そして、おそらく最も重要なこととして、Snowflakeの外部にあるマネージドSparkプラットフォームが、データの整合性とセキュリティに影響するデータガバナンスの懸念を引き起こしていました。

結果

SwireのAI/MLのニーズに理想的なワンストップショップとして、Snowflakeが浮上しました。Snowflakeは、複雑さを大幅に軽減し、優れた使いやすさとデータガバナンス改善のための堅牢なフレームワークを備えたシングルプラットフォームを提供します。また、Snowakeの価値実現までの時間についての価値提案は、Swireがそれまで欠かせなかったクラスター管理を不要にし、データ移動なしに重要なデータに素早くアクセスすることを可能にするものでした。このプラットフォームの使いやすさとほぼ即時の自動再開機能によって、Swireでは業務効率のさらなる合理化、費用の無駄の減少、クラスター管理における手動介入の排除が実現しました。

こうした改善の結果、Swireは計画された物流ルートを最適化して、燃料費、運転手経費、全体的なサービスコストを大幅に削減しました。さらに、市場投入期間についても同様に顕著な効果を得られました。Snowflakeによってモデル開発のスピードが大きく向上したため、効率が改善して重要なMLモデルの展開が迅速化し、数週間の時間短縮とビジネス上の具体的なメリットがもたらされました。

効果

- 計画された物流ルートの最適化によって**数百万ドルのコスト削減を達成**
- 重要なAI/MLモデルの展開が迅速化したことで、**市場投入期間が短縮**して数週間を節約
- データ管理の合理化と自動化によって**総保有コストが低減**

ストーリー全文を読む

TRAVELPASS：よりキュレートされた旅行者体験を提供しながらコストを65%削減

旅行会社のTravelpassでは、DatabricksからSnowflakeに移行した結果、より多くの人員のデータエンパワメントが実現し、効率の改善、より情報に基づいた意思決定、世界中の旅行者に対するよりカスタマイズされた体験の提供が可能になりました。

業界 旅行・ホスピタリティ

ワークロード データエンジニアリング、データウェアハウス、AI/ML

人は旅によって共通するものを発見できるというアイデアから設立されたTravelpassは、旅行者のニーズに最適なホテルや旅行体験を提供することで旅行者同士をつなぎ、世界を股にかける旅行者たちのコミュニティの広がりのなかから、より確かな情報に基づいたキュレートされたコンテンツを抽出して旅行者にインスピレーションを与えています。このビジョンを実現するために、Travelpassはホテルの空室状況や宿泊料金、レストランのおすすめ、観光予約など、常に変化する多様な情報を管理しています。

課題

Travelpassのビジネスにとってデータは生命線です。しかし、Travelpassのデータチームは、構築する内容よりも構築方法に多くの時間を費やしていました。同社が使用していた手間のかかるプラットフォームでは、チームは彼らの許容範囲を超えた頻度でエラーのデバッグやジョブの失敗に対応していました。1つの小さな変更によって、システム全体が中断することも多くありました。また、日常的にメモリの問題が発生し、データセットに新しい列を追加するなどの簡単な調整であっても、クラッシュが起きてシステム全体を再起動しなければならない状況でした。

手間のかかるメンテナンスとクラッシュしやすいシステムに苦闘していた同社は、堅牢でありながら使いやすいSnowflakeをデータプラットフォームとして採用しました。Snowflakeでは、データガバナンスとコスト制御について心配することなくAIの膨大なパワーを活用できるようになるからです。

結果

Travelpassはすぐに、真の協調のメリットを実感しました。30TBのデータと134個のパイプラインやプロセスを、わずか6週間でシームレスに移行できたのです。また、使いやすく親しみやすいSnowflakeにより、データエンジニア以外のメンバーも、手軽で有意義な方法でSnowflakeデータに貢献できるようになりました。さらに、シンプルなSQLステートメントで宣言的に作成できるダイナミックテーブルなどの機能を活用することで、パイプライン構築の複雑さが大幅に軽減しました。追加のオーケストレーションや管理を必要とし、コード作成にかなりの時間を要するDatabricksのDelta Live Tablesと異なり、ダイナミックテーブルはSQL経験があれば誰でも扱えるため、バックエンドエンジニアやアナリストなど、Travelpassのより多くの従業員が効果的に実践できるようになりました。Travelpassでは、この機能によってビジネスユニットへのデータ提供効率を約350%改善し、チームが一週間に実行できるコード最適化の数が4倍になったと推定しています。

効果

- 従来のDatabricksのプラットフォームからSnowflakeに切り替えたことで**コストを65%削減**
- Snowflakeダイナミックテーブルにより、ビジネスユニットへのデータ提供**効率を350%改善**
- 従来システムでの手間のかかるデバッグ作業が排除されたことにより、**信頼性とエコシステムの安定性が向上**

ストーリー全文を読む

「Snowflakeという素晴らしいパートナーのおかげで、私たちはAIの世界から置いていかれる心配がなくなりました。AIの世界は非常に速いスピードで進んでいます。ですが、私たちにはすぐに飛び乗って舵を取れる強固なファウンデーションがあります。」

—DAVID WEBB氏
Travelpass、データアーキテクト

移行計画の
マッピング

ここまで、さまざまなお客様の事例を通して、時間の大幅な節減、コストの低減、イノベーションの加速など、現在のデータプラットフォームを組織のニーズに照らして評価すべき理由をご紹介してきました。

Snowflakeを信頼できるパートナーとして選択した企業は、移行を合理化してシンプルに実行しています。たとえば、Travelpassは、30TBのデータと134個のパイプラインやプロセスをわずか6週間でシームレスに移行しました。Travelpassのデータアーキテクトである David Webb氏は、次のように話しています。「私たちは、移行のために業務を中断する必要がありませんでした。これはまさに、Snowflakeのシステムの素晴らしさを示す証拠です」

さらに、多くの組織がプラットフォームの移行をより容易にするためのフレームワークを構築しています。たとえば、Bond Brand Loyaltyは、移行によって多大なメリットを得られることを実証できたため、続いて自社の顧客がマネージドApache Sparkやオンプレミスのソリューションからより容易に移行できるように、独自のフレームワークを作成しています。

> **「私たちはお客様に対し、マネージドSparkプラットフォームからSnowflakeへの移行によってコストと複雑さを低減できることをお伝えしています。そして、私たちの経験を活かしながら、お客様がそうしたメリットを大規模に実現できるようにサポートしています」**
>
> **—FRANCIS SILVA氏** Bond Brand Loyalty、Digital and AI担当Executive Vice President

移行についてご興味をお持ちになった方は、まずはぜひ**Snowpark移行アクセラレーター**の詳細をご覧ください。このアクセラレーターはご使用のSparkコードを分析してSparkからSnowparkに変換することで、より迅速かつ効率的にSnowparkを利用開始できるよう支援します。

また、Data Cloud Academyの一環として提供されている**Migrations Master Class**にもご参加いただけます。このクラスでは、Snowakeへの移行を合理化するためのベストプラクティスと利用可能なリソースについて詳しく説明します。

SNOWFLAKE について

Snowflakeは、シンプルかつ効率的で信頼性の高いエンタープライズAIを実現します。SnowflakeのAIデータクラウドは、世界最大規模の数百の企業を含む世界中の数多くのお客様に利用されており、データ共有、AI/機械学習アプリケーションの構築、ビジネスの強化に貢献しています。これからは、エンタープライズAIの時代です。

詳しくは、**snowflake.com/ja**（ニューヨーク証券取引所：SNOW）をご覧ください。

© 2024 Snowflake Inc.All rights reserved.Snowflake、Snowflakeのロゴ、および本書に記載されているその他すべてのSnowflakeの製品、機能、サービス名は、米国およびその他の国におけるSnowflake Inc.の登録商標または商標です。本書で言及または使用されているその他すべてのブランド名またはロゴは、識別目的でのみ使用されており、各所有者の商標である可能性があります。Snowflakeが、必ずしもかかる商標所有者と関係を持ち、または出資や支援を受けているわけではありません。